

4期目がスタート

## 小峰町長に聞く



7月5日(日)に執行予定の鳩山町長選挙は、立候補者が1名のため無投票となり、小峰孝雄氏が再選を果たしました。

少子高齢化や人口減少などによる厳しい財政状況のなか、鳩山町は多くの課題に直面しています。安心安全なまちづくりを推進しつつ、健全な財政の確保を目指すために、4期目のスタートにあたり、小峰町長に、鳩山町のまちづくりへの決意と抱負を伺いました。



▲7月6日(月)当選証書付与式で、古越選挙管理委員会委員長(写真右)から当選証書を手にする小峰町長(写真左)。

「今後4年間で進めていきたい取り組みについてお聞きします。」

「安全・安心、そして健康な町はとやま」・「より便利なデマンドタクシーの実現」・「企業誘致の推進」の3つの政策を推進しつつ、近年増加している起債残高を抑えるために「起債残高の削減計画」を作成します。

この計画とともに、健全な財政の確保を目指し、長期的な視点に基づく安定した財政運営により財政健全化に全力で取り組んでまいります。

「安全で安心、そして健康なまちづくりについてお聞きします。」

鳩山町は、ここ数年男女とも健康寿命が県内でトップクラスにあります。また、町内の交通事故死亡者ゼロにつきましても4千日を超え、県内最長を継続しています。

「今後はこれらに犯罪のないまちづくりの推進に加え、「安全・安心、そして健康な町はとやま」を目指していきます。」

「デマンドタクシーについては、今後どのように取り組んでいきますか。」

現在、町内の貴重な公共交通機関として、デマンドタクシーは重要な役割を果たしています。

一方で、町外へのアクセスや土・日曜日の運行に対する要望も寄せられています。こうした要望を踏まえ、「より便利なデマンドタクシーの実現」に向けて取り組みを強化してまいります。

「企業誘致の推進についてはどのようにお考えですか。」

良品計画鳩山センターやスーパーマーケットベイシアの誘致を実現してまいりましたが、今後は今宿仮宿地区などへの

企業誘致を実現し、税収確保に努めてまいります。企業誘致につきましては、支社や工場といった地方拠点誘致に加え、本社機能移転や外国企業の誘致についても研究していきたいと思っております。

「まず重点的に取り組みたいことを町民の皆さまにお願いします。」

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策を影響を受けた町民の皆さまに対して、重点的に取り組んでまいります。鳩山町緊急支援事業第1弾として「町内事業者応援」「子育て世帯支援」「公共施設等感染防止」の3つの基本方針に基づき、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、町独自の支援事業を早期に実施してまいります。また、第2弾も続けて実施する予定です。

(鳩山町緊急支援事業第1弾の詳細は広報はとやま7月号を参照)